

ふれあい

NO. 207

2010. 9. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

第49回近畿知的障害者福祉大会 (併催 第10回大阪市知的障害者育成会大会) に参加して

NPO法人WING

理事長 中山 恵美子

第49回近畿知的障害者福祉大会が第10回大阪市知的障害者育成会大会と併催して9月5日、大阪市立北区民センターで「私たちの気持ちや体が大切にされる街づくり」を大会主題として開催され、近畿各地より会員約600人が出席されました。

全員で白ゆりコーラス先導のもと「手をつなぐ母の歌」を歌い開会宣言の後、主催者挨拶で社会福祉法人大阪市知的障害者育成会の笹野井庸夫理事長は大会を盛大に開催できました御礼と歓迎の言葉を述べられました。続けて、近畿手をつなぐ育成会連絡協議会 久保厚子会長、近畿みんなで集まる会 山本まゆみ会長がご挨拶されました。来賓挨拶では大阪市長 平松邦夫様の代読を森下副市長様より頂き、大阪市会議長 荒木幹男様からもお祝いの言葉を頂きました。

開会式終了後、本人大会は大阪市立海洋博物館にわの海の時空館と海遊館へのバスツアーに参加される方と、トークに参加される方に分かれ、トークでは①「仕事・生活の悩みや楽しみと余暇について」、②「本人活動について考えてみよう」という二つのテーマについてそれぞれ分かれて話し合いました。午後の本人大会は「フェスタ☆みんなで楽しもう♪」というテーマで、近畿から集まったみんなが、大道芸やオカリナ演奏、腹話術など楽しい特技を披露してくれました。

全体会の「中央情勢報告」では、全日本手をつなぐ育成会副理事長の北原 守さんから政府が障害者権利条約批准に伴う法制度の見直しの検討に入っていること、内閣の中に障がい者制度改革推進本部を設置し、推進会議で新たな障害者差別禁止法や障害

者虐待防止法の制定、福祉分野では障害者自立支援法の廃止と障がい者総合福祉法(仮称)制定に向けた検討が始まっていることが伝えられました。当事者の意見の反映が重要であること、そのために会として提言もしていきたいと述べられました。

昼食後は「ふれあいコンサート」と題して、東成育成園のみんなとチアリーディングチーム「MiraculousFAIRY(ミラクラスフェアリー)」による躍動感あふれる素晴らしいダンスと、スペシャルオリンピックの知的障がい者グループ「アンサンブルアスリート」のメンバーと愛好家有志による、ドイツのヘルマン・フェー氏が、ダウン症がある息子さんのために1987年に開発したヘルマンハーブの演奏会、曲中にはアスリートのメンバーによるメッセージもありました。そして「白ゆりコーラス」によるとてもきれいなハーモニーと、それぞれが会場にいる方々を魅了していました。

シンポジウムでは「障害のある人が安心して暮らせる街づくり」というテーマで、桃山学院大学教授で社会福祉法人大

阪市知的障害者育成会理事でもある石田易司氏をコーディネーターに、親の立場から衆議院議員 中根康浩氏、社会福祉法人大阪市知的障害者育成会理事で社会福祉法人清心会理事 小泉いと子氏、兄弟の立場から衆議院議員 三宅雪子氏の3人の方に今までの取り組み・現状について報告があり、中根氏からは障がい者自立支援法の抜本改正、平成25年8月障がい者総合福祉法の制定や、障がい者権利条約の批准に向けての取り組み、障害を持つ方とより連携を深め障がい者への虐待を根絶し、「親亡き後」も安心して暮らせる地域社会への実現に向けてのご意見。三宅氏からは「福祉は政治、政治は福祉」という理念のもとに福祉活動に取り組み、地域コミュニ

